



2023年5月15日

各 位

会社名 住友化学株式会社
代表者 代表取締役社長 岩田 圭一
(コード番号 4005 東証プライム市場)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長
小林 俊二
(TEL 03-5201-0200)

減損損失の計上に関するお知らせ

当社は、2023年3月期第4四半期連結会計期間(2023年1月1日～2023年3月31日)において、下記のとおり減損損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上

当社および当社の連結子会社において、一部の固定資産について減損の兆候が認められることから、当該固定資産に係る回収可能性を検討した結果、減損損失を計上することといたしました。

この結果、2023年3月期の連結財務諸表において、減損損失53,027百万円を「売上原価」、「販売費及び一般管理費」および「その他の営業費用」に計上しております。また、個別財務諸表において減損損失16,198百万円を「特別損失」として計上しております。

減損損失を認識した主要な資金生成単位は以下のとおりです。

① 開発化合物に係る研究開発活動の成果(dubermatinib)

当社の連結子会社である住友ファーマ株式会社は、急性骨髄性白血病(AML)を対象としたフェーズ1/2試験(外部研究機関主導治験)が中止となった後、開発方針検討中であったTP-0903(dubermatinib)について、開発を継続しないことを決定しました。この結果、TP-0903に係る仕掛研究開発について、20,598百万円(152百万米ドル)全額を減損損失として計上しております。

② メチオニン製造設備

当社は、健康・農業関連事業のメチオニン事業について、原燃料価格高騰によるコスト上昇や、需給環境の悪化に伴う売価下落により損益が悪化したことに伴い、収益予測の見直しを行いました。その結果、メチオニン製造設備の帳簿価額を使用価値17,083百万円まで減損し、15,763百万円を減損損失として計上しております。

2. 業績への影響

上記の減損損失については2023年2月1日公表の「2023年3月期通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想に織り込んでおります。

以上